

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5606 映像と現代社会1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	124
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	金曜2限				
教室	B205教室				
代表教員	飯田 基晴				
担当教員	飯田 基晴				
テーマと到達目標	現代社会の理解に適した映像作品、主にドキュメンタリー映画を鑑賞し、社会のさまざまな事象や問題がどのように記録され、表現されてきたかを学びます。前期授業のテーマは「尊厳の回復」、後期授業のテーマは「外側からの眼差し」。授業を通じて社会問題への理解を深めるとともに、ドキュメンタリー映画の表現の豊かさ、おもしろさを感じてほしい。そして、「現代社会」を見つめる眼差しを、自分のものにしていてください。				
概要	映画の鑑賞と講義だけでなく、グループディスカッションの時間も設けます。受け身ではなく積極的に参加してください。私の手掛けた映画も多く上映し、映画製作の背景について話します。またゲスト講師として、上映する映画の監督も招きます。ゲスト講師の予定により授業計画を変更する場合があります。授業後に毎回、レポートの提出を求め、その提出を合わせて出席とします。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	貧困問題と人権1 映画「あしがらさん」鑑賞				対面授業
第3回	貧困問題と人権2 DVD「ホームレスと出会う子どもたち」鑑賞とディスカッション				対面授業
第4回	子どもと学校 テーマに沿った作品の鑑賞とディスカッション				対面授業
第5回	災害と障害者 映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」鑑賞				対面授業
第6回	障害者差別1 映画「不安の正体」鑑賞				対面授業
第7回	障害者差別2 「優生保護法 知らぬ間に手術をされた」鑑賞とディスカッション				対面授業
第8回	農村のいま1				対面授業
第9回	農村のいま2				対面授業
第10回	原発事故1				対面授業
第11回	原発事故2				対面授業
第12回	公害をめぐる闘い1				対面授業
第13回	公害をめぐる闘い2				対面授業
第14回	労働をめぐる生存闘争1				対面授業
第15回	労働をめぐる生存闘争2				対面授業
成績評価の基準	毎回、映画を見て、気づいたこと、考えたことなどを400字ほどのレポートで和光ポータルに添付してもらいます。出席カードとレポートとを合わせて1回の出席とします。 授業の出席と毎回のレポート(70%)、期末レポート(30%)で総合的に評価します。				
履修にあたっての留意事項	定員を超えた場合は抽選とします。映画を見ただけで単位が取れるわけではありません。授業中に意見を求めることもありますし、毎回のレポート内容も重視します。しっかり映画を見て、自分の意見を持つようにしてください。積極的に参加して、楽しい授業にしましょう。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	T学科				

## ◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	「犬と猫と人間と いのちをめぐる旅」飯田基晴著/2010年/太郎次郎社エディタス	参考文献(ISBN)	